福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
【Ⅰ　理念に基づく運営】					
１．理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	簡単なものであるが、開設時全職員で作った		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝ミーティング後に出勤者全員で唱和している		
3	—	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会、運営推進会議、地域での交流会等参加し理念や運営方針を話し理解していただいている		
２．地域との支え合い					
4	—	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方々には、気軽に声をかけ挨拶をしている 利用者様の散歩の時には地域の方々から声を掛けてもらっている		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣り組合に入っている 地域の行事には参加、見学させてもらっている		
6	—	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所主催の催し物を年に数回行い、利用者様と地域のお年寄りで楽しい時間を過ごしてもらっている	○	催し物の回数を増やし、施設を今以上に開放したい

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
３．理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員の意見を取り入れ記入 外部評価に関しては謙虚に受け入れ改善することを、常日頃より話している		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々の意見など受け入れ実施している		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センター及び介護保険課に出向き施設の状況を話している		
10	7	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は研修などで受けた内容については職場に持ち帰り職員会議の時に話し合っている また、インターネットで分かりやすい資料を見つけ、職員に配布し学習してもらっている	○	地域権利擁護事業や成年後見人制度の勉強会には必ず参加するようにしている 現在成年後見人制度を必要とする利用者はいない
11	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関適法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	常日頃より職員に、何をすれば拘束、何をすれば虐待になるのかを話し、施設全体で行なわないようのしている またキッチンに厚生労働省の発行した「身体拘束禁止の対象となる具体的行為」を貼り職員の目に付く様にしている		
４．理念を実践するための体制					
12	—	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に時間をかけ説明を行い納得してもらっている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
13	—	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の意見は受け入れている 何処に出かけたいか？ 本人の思いなどしっかりゆっくり聞き出し希望に添える様に務めている		
14	8	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時日々の様子を伝えている		
15	9	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に２ヵ所意見箱を設置し、家族・第三者の意見を取り入れるようにしている 意見箱は以前より設置していたが、活用されないので、家族会の時に活用していただけるようお願いした（利用者様を何処へドライブ連れて行って欲しいか、そのようなアドバイスも欲しいと伝えた）	○	家族・第三者の意見を取り入れ施設のｻｰﾋﾞｽ改善に役立てたい
16	—	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議などで職員の意見を聞き施設運営に取り入れている		
17	—	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な時間帯、個別に対応しなくてはならない｣利用者様ができた場合などに対して職員を１人確保している		
18	10	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様に影響のないようにしている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
５．人材の育成と支援					
19	11	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用に対しては本人の働く意思に重点を置いている 職場内の職員に対しては、働きやすく、あかるく、楽しく、何でも話し合える職場作りを目指している		
20	12	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	日頃より利用者様には尊厳を持ち、特に言葉使いには注意するよう指導している	○	代表者、管理者は人権教育などの勉強会に参加し、職員会議などで話しているが職員の入れ替わりなどで全体としての徹底ができてない
21	13	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修などには積極的に参加するように声掛けしている		
22	14	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会Fブロックに加入し交流を深め、よい所は職員会議などで話し合い受け入れ、サービスの向上に努めている	○	他の施設の管理者の方に相談アドバイスを受けている
23	―	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年数回全職員を対象に食事会を行い、また、職員会議の後には当日の勤務者以外は食事に誘い何でも気軽に話し合える時間を作っている		
24	―	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の得意なことなどを日頃より生かしてもらっている 職員の休み希望を聞きなるべく希望に沿える様にして働きやすい様勤務を組んでいる		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
【Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
１．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
25	—	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前よりご家族の方々より状態を聞いているが、様子を見ながら対応させてもらっている		
26	—	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前よりご家族の方より状態報告してもらい、ご家族や本人の希望に添えるように努力している		
27	—	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族が必要とされている事に添える様に努力している		
28	15	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所、外泊、外出、面会などをご家族の方にお願いしている		
２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
29	16	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様より、本人の人生録など聞いて介護に生かしたり、コミュニケーション時の話題に生かしたりしている		
30	—	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と何でも気軽に話し合える様な関係を築いている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
31	—	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時は居室に入っていただきご家族と話出来る環境を作っている		
32	—	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の馴染みの方の面会を施設としては歓迎し、前もって面会がわかっている場合などは昼食など準備し一緒に食事を楽しんでいただいている。また自家用車のない方にたいしては、送迎も実施している		
33	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている	利用者様が孤立しないように居室に閉じこもり気味な方は様子を見て声かけしたり、１０時のお茶、１５時のおやつの時は居室でなく、みんなと一緒に集まって楽しく過ごしていただいている		
34	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	死亡で退所の場合は、４９日までの週参りと初盆・一周忌と仏様にお参りさせてもらっている（ご家族の許可を頂いて）		
【Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】 **１．一人ひとりの把握**					
35	17	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の希望・意向などを尊重しまたそれが困難な場合はご家族の意見を伺い、ご本人がより良い暮らしが出来る様努力している		
36	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人の話を聞きその方に合った今までの生活暦に近い暮らし方を提供するようにしている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
37	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様の日々の生活の内容を個々に記帳し全職員で把握出来る様にしている		
２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
38	18	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	ご家族・ご本人・職員と話し合い意見やアイデアを生かした介護計画を作成している		
39	19	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	３～４ヶ月毎モニタリングを行い本人の状態が変化したときにも、状況に応じた計画作成している		
40	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録により、気付いたことは施設内で話し合い介護計画の見直しに活かしている		
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
41	20	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々に合った介護が出来る様努力している		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
42	—	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	保育園・小学校の行事には見物に出かけている 消防署・民生委員さんより時々訪問声掛けしていただいている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
43	—	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	今まで他のｻｰﾋﾞｽを利用する申し出はない		
44	—	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護や総合的、長期的なケアマネジメント等は地域包括支援センターと協働する事がまだ今の所必要になっていない。		
45	21	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族の希望を尊重し特に希望がなく当施設に任せてくれる場合は当施設の担当かかりつけ医を紹介している（２週間に一回往診してくださる為） 施設の主治医以外の受診時にはご家族の方と同行し、一緒に説明を聞いている		
46	—	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	いつでも受診または電話で相談しアドバイスをいただいている 受診が困難な場合は往診していただいている		
47	—	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医、看護師共に時間に関係なく電話で相談指示を受けれるような体制をとっている		
48	—	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先にほぼ毎日施設関係者が出向き、利用者には安心を、病院とは情報交換に努めている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
49	22	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と練り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医の説明の時には、なるべくご家族にも出席していただき先生の言葉を聞いてもらったり、質問していただき、みんなで今後の方針について話し合っている		
50	—	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医との連絡を密に取りその都度家族にも連絡をとっている またいよいよの時にはご家族の了解を頂き、居室に泊まっていただいている		
51	—	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	在宅復帰・退所の場合はケアマネに連絡 ご家族との話し合いや情報交換を行なっている		
【Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】 **１．その人らしい暮らしの支援** **（１）一人ひとりの尊重**					
52	23	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報については個々の支援のみに使用 一人ひとりに尊厳を持って対応している		
53	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人との対話に基づき意思や希望を聞きその人らしさを第一に考え支援している		
54	24	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を職員全員で心掛けている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
（２）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
55	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理容師さんが来園しカットしているが、カラーやパーマ希望者は美容室へ連れて行っている 身だしなみについては更衣介助の必要な方でも、ご本人にその日着る服を選んでもらっている		
56	25	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	みんなで楽しく食べれるように心掛けている天候の良い時など、時々庭でランチして気晴らししてもらっている 片付けなどできる方には手伝っていただいている		
57	—	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコはご本人の訴えのある時に吸ってもらっている おやつは当施設で準備しているが、希望により買い物に出かけ、食事に影響の出ない程度購入してもらっている 現在お酒を飲まれる方はいない		
58	—	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中はオムツ使用はせずトイレ誘導している 個人個人の排泄の時間を把握し失敗のない様支援に努めている		
59	26	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	自立入浴の方はご本人の希望に合わせて入ってもらっている 体を洗っている最中でも足浴したり、入浴剤の香りでリラックスしていただいている		
60	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の様子を見ながら夜間ゆっくり休んでいただけるように支援している		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
（３）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
61	27	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各個人にあわせお出かけ、買い物食事の片付け、掃除、畑仕事など支援を行なっている		
62	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理されている方は買い物などの時は自分で支払いされている　職員は支払いの様子を見守りしている		
63	28	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	暖かく天気のいい日には庭でおやつやランチなどを行なっている 散歩もご本人といっしょに付き添っている		
64	—	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じた花見物 一泊旅行利用者様の希望を聞き年二回行ない喜んでもらっている		
65	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により電話を居室に設置された方もいる 携帯を持ち気軽に知人と連絡を取り合っている方もいる 手紙を書かれている方もいる		
66	—	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	何時でも気軽に訪問していただいている 送迎も行なっている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
（４）安心と安全を支える支援					
67	—	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常日頃より拘束しないケアをしているキッチンの掲示板にも「身体拘束禁止の対象となる具体的な行為」を貼っている		
68	29	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜勤帯以外はすべて鍵をかけないようにしている		
69	—	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	目配り気配りをし全体を見渡し利用者様の行動を常に把握し安全に配慮している		
70	—	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤などは床下収納庫に入れている ハサミは刃先の丸いものを使用し自由に使用してもらっている		
71	—	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	業務中に感じたヒヤリハットは必ず記入し、職員全体で周知し事故防止対策を話し合っている		
72	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	施設内に緊急時のマニュアルを目に付く所に掲示している 消防署の救急救命訓練にも勤務の都合をつけ、参加してもらっている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
73	30	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	春、秋避難訓練を行なっており、地域の方にも参加してもらっている 近隣の常会時にも、もしもの時の協力をお願いしている		
74	—	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時に一応の起こり得るリスクについても家族には話している もしもの時には家族としてはどうして欲しいか相談している		
（５）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
75	—	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃よりバイタルチェックし体調管理を行い病気の早期発見に努めている 異変時には主治医に連絡し指示してもらっている		
76	—	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は利用者様一人ひとりの薬について把握できるよう指導している 「薬の説明」はファイルしいつでも確認出来る様キッチンに置いている		
77	—	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜中心の食事を作っている こまめに水分補給・適度な運動で便秘予防している		
78	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	チェック表を作成毎食後の口腔ケア介助している　ご自分でできる方には声掛けしている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
79	31	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別で食事摂取量、水分摂取量を記録している　その日の水分量の少ない方には夜勤対で多めに飲んで頂き脱水防止の支援をしている	○	今年はカロリー計算が１回しかできなかったので今後は年２回するようにする
80	―	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の収り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種は毎年、利用者様・職員とも全員受けている こまめに更衣して頂き、皮膚病予防もしている 主治医主催の感染症についての勉強会も参加している		
81	―	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日冷蔵庫の中身をチェックして、賞味期限切れの物を置かないようにしている こまめに買い物に行き古いものを置かないようにしている 調理用具は担当者が責任を持って衛生管理している		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **（１）居心地のよい環境づくり**					
82	―	○　安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇、プランタンに季節にあわせた食物、花を育てている		
83	32	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周囲には季節の花を飾り、床の間、居室にも季節の花をさしている 日差しの強い日には、カーテンを使用しまぶしすぎないよう気をつけている		
84	―	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	キッチン、コタツの席についても自然と気の合った方同士で席を決められている 気の合った方はお互いの居室にも行かれ話し込んでおられる時もある		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	○印（取り組んでいきたい項目）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
85	33	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた物品を持ち込まれている ベットの位置もご本人で決められている		
86	—	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室の換気扇はその時に応じて使用している 日中、またはその時に応じて居室の窓を開け換気している 室温の管理はこまめに行なっている（冬は22～23℃夏は26～27℃）		
（２）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
87	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所には手摺りをつけている 車椅子も利用できるように玄関にはスロープ、廊下・トイレは広めにしている		
88	—	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入口には目線の高さで見やすいように手作りの名札をつけ、その下に利用者様の担当の職員の写真（名前付き）をかけておりご家族の方にもわかるようにしている		
89	—	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭にはイスを準備し、何時でも日光浴ができるようにしている 施設の周りは自然に囲まれているため、外でのんびりおいしい空気で気晴らししていただいている		

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの成果（該当する箇所を○印で囲むこと）	
V　サービスの成果に関する項目				
90	―	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
			○	②利用者の２／３くらいの
				③利用者の１／３くらいの
				④ほとんど掴んでいない
91	―	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
				②数日に１回程度ある
				③たまにある
				④ほとんどない
92	―	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の２／３くらいが
				③利用者の１／３くらいが
				④ほとんどいない
93	―	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
			○	②利用者の２／３くらいが
				③利用者の１／３くらいが
				④ほとんどいない
94	―	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の２／３くらいが
				③利用者の１／３くらいが
				④ほとんどいない
95	―	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の２／３くらいが
				③利用者の１／３くらいが
				④ほとんどいない
96	―	○利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
				②利用者の２／３くらいが
				③利用者の１／３くらいが
				④ほとんど掴んでいない

福岡県
グループホームみんなの家

地域密着型サービス外部評価の自己評価票　（網掛け部分は外部評価の調査項目）

項目番号 自己	項目番号 外部	項目	取り組みの成果（該当する箇所を○印で囲むこと）	
97	―	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
				②家族の２／３くらいと
				③家族の１／３くらいと
				④ほとんどできていない
98	―	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている		①ほぼ毎日のように
				②数日に1回程度
			○	③たまに
				④ほとんどない
99	―	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			○	②少しずつ増えている
				③あまり増えていない
				④全くいない
100	―	○職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
			○	②職員の２／３くらいが
				③職員の１／３くらいが
				④ほとんどいない
101	―	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			○	②利用者の２／３くらいが
				③利用者の１／３くらいが
				④ほとんどいない
102	―	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
				②家族等の２／３くらいが
				③家族等の１／３くらいが
				④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

一日のスケジュールも作らず、のんびりと時間が過ぎていくようにしている。山里にての生活を満喫して頂き、新鮮な野菜を多く利用した食生活をしています。
お天気次第で急にドライブ、散歩、庭でのランチやおやつ、ファミレスでのおやつなど実施している。年に２回温泉旅行や日帰り旅行なども実施している。
誕生会はご家族も一緒にお祝いに参加して頂いている。利用者様、ご家族、職員一体皆、家族同然のお付き合いをさせてもらっている。